|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 和名 | ヒョウタンノキ | 科名 | ノウゼンカズラ科 |
| 学名 | *Crescentia cujete* |
| 英名 | Calabash | インドネシア名 | Kalabasa majapait |
| 原産地 | 西インド | 用途 | 観・工芸材料 |

中高木で高さが８～１２ｍ程度になります。

葉は楕円形で、幹や枝の節に集まってつきます。

枝の節に淡い緑白色の花を咲かせます。夕方から咲き始め、翌朝には落下します。

果実は球形、直径は約２０ｃｍで果皮は硬く、バリ島以東でヒョウタンのように容器として利用されています。果肉は薬用にします。下剤に使われている国もあるそうです。JJSでは、小学部校舎前に植えてあり、たくさん、丸い実がついた木を見ることができます。

ヒョウタンに似た実をつけることから、この名前がつきましたが、ヒョウタンとは全く違う仲間です。